

2022年11月29日（火）神戸新聞（北播）わがまち

## 教諭ら学習の成果発表 「地域は教材の宝庫」



東条川疏水に関連した取り組みが紹介されたシンポジウム＝小野市中島町

東条川疏水テーマにシンポ

### 小野

「全国疏水百選」に選ばれている「東条川疏水」を考えるシンポジウムが、小野市中島町の市うるおい交流館エクラで開かれた。東条川疏水ネットワーク博物館会議を構成する県や小野、加東市などから約140人が参加。地元の教諭らが登壇し、同疏水に関する取り組みを発表した。

東条川疏水は鴨川ダムを主な水源とする水路網。加東、小野、三木市の農地に農業用水を送り、水道水としても利用されている。

関係自治体と団体は流域全体を大きな博物館と捉えた「ネットワーク博物館」の取り組みを進め、定期的

に総会とシンポジウムを開いている。

「東条川疏水の日」となっている23日に開かれたシンポジウムでは、加東市立福田小の小倉蒼太郎教諭が、東条川疏水をテーマにした地域学習を報告。「地

域は教材の宝庫。主体的で深い学びを子どもたちは得られる」と意義を強調した。また、兵庫教育大の吉水裕也副学長は「疏水を題材にした教材開発」について発表した。

（杉山雅崇）